

発 言 通 告 書

発言者氏名	小幡沙央里
発言の会議	令和元年 6月 7日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 待機児童の解消について

(1) 待機児童解消の見込みについて

ア 無償化の始まる本年 10 月までに待機児童解消は達成されるのか。

イ 達成されない場合、いつまでに待機児童を解消するのか。

(2) 待機児童が解消されていない中で、来年 4 月以降も、市独自の年収 500 万円未満相当世帯のゼロから 2 歳児への幼児教育・保育無償化を続けていくのか。

(3) ゼロから 2 歳児に特化した小規模保育事業と一時預かり事業を進めてはいかがか。

2 横須賀市の子育て環境について

(1) 潜在的なニーズを調査し、今年度中に公立保育園のあり方を見直し、公立保育園再編実施計画を改定するという認識でよいのか。

(2) 既存の保育園や病院が病児・病後児保育を始めることを推進

してはいかがか。

(3) 未就園児の支援について

ア 未就園児のいる世帯への子育て支援はどのように充実させていくのか。

イ 未就園児のいる世帯を対象に子育て支援のバウチャー制度の導入を検討してはいかがか。

3 ユニバーサルデザインのまちづくりについて

(1) 今後整備される「くりはまみんなの公園」の代替公園等を障害のあるなしにかかわらず訪れることができるものにするなど、公共施設におけるユニバーサルデザインの導入を積極的に進めるべきと思うがいかがか。

(2) 庁舎案内図の見直し等、市がユニバーサルデザインのモデルを推進してはいかがか。

(3) 聴覚障害者が買い物しやすくなる取り組みについて

ア 障害者差別解消法の啓発から一歩進み、商店向けに筆談ボードやタブレットを活用したコミュニケーションの取り方などの講習を行ってはいかがか。

イ 聴覚障害者の買い物をサポートする店舗に、それを示すステッカーを掲示するようにしてはいかがか。

4 学校におけるユニバーサルデザインの導入について

(1) 色覚チョークを全公立学校で導入すべきではないか。

(2) ユニバーサルデザインフォントを全公立学校で導入してはいかがか。